

決算審査結果

光町監査委員

渡辺孝司
椎名定司

昭和五十四年度光町一般会計並びに各特別会計歳入歳出決算について、関係諸帳簿及び証拠書類を照合審査した結果、決算計数はいずれも符合し、誤りのないことを確認いたしました。

事務事業の執行状況は、いずれの会計も議会の議決事項に従い、概ね適切な執行がなされ、また、その事務処理方法も適切であると認定いたしました。

決算状況をみると、各会計とも収支の均衡がとれた堅実

な決算内容となっており、健全財政が堅持されています。

一、町有地については、現地踏査等を実施し、台帳との一元化を図り、管理の適正化を期すること。

二、国民健康保険税の五十四年度末における滞納繰越累積額は、八百七万五千円に達しているため、税負担の公平化のうえからも更に一層の徴収努力をすること。

補正予算 (第2号) 12月定例議会で成立

昭和55年度光町一般会計、二特別会計補正予算(第2号)は、12月17日の定例町議会で、原案どおり議決成立しました。

一般会計

歳入歳出予算の総額にそれぞれ7,923万5千円を追加し歳入歳出予算の総額を21億4,955万3千円としました。

補正額 7,923万5千円の内訳

歳入	
寄付金	5,238万3千円
県支出金	2,158万1千円
財産収入	295万円
地方交付税	223万2千円
その他	8万9千円

歳出	
農林水産業費	7,748万2千円
総務費	377万4千円
教育費	△347万5千円
その他	145万4千円

有線放送特別会計

歳入歳出予算の総額にそれぞれ135万円を追加し、歳入歳出予算の総額を2,484万円としました。

補正額 135万円の内訳

歳入	
弁償金	135万円 (ケーブル張替工事等)
歳出	
施設整備費	135万円 (ケーブル張替工事等)

食肉センター特別会計

歳入歳出予算の総額にそれぞれ677万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億6,561万5千円としました。

補正額 677万5千円の内訳

歳入	事業収入	660万円
	繰越金	17万5千円
歳出	施設管理費	750万円
	その他	△72万5千円

こんにちは

バレーボール同好会

土曜日の夜七時……光町体育館の前に立つと、トレーニングウェアに身を包んだ青年達が二人、三人と連れだつてやってくる。

七時三十分……バシツと小気味良いスパイクの音が館内に響き、みんなの額にうっすらと汗がにじむ。

今回は光町バレーボール同好会におじゃましました。

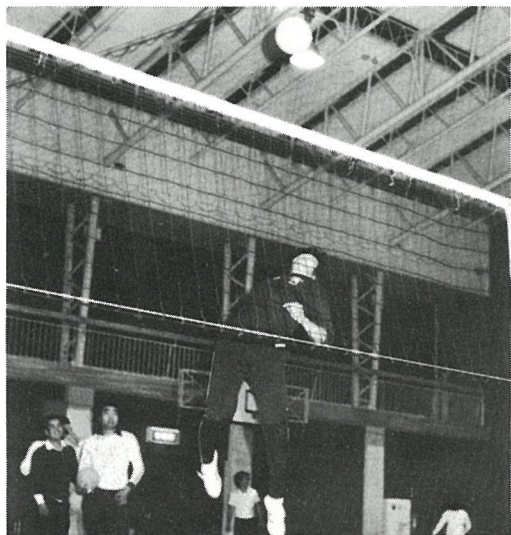
このクラブ、同好会としての活動はまだ期間が短く二年足らずですが、そもそもは、町体育協会のバレー部として活動していた歴史をもつ、由緒あるクラブです。

昭和五十四年に、町体育協会バレー部が登録チームを募集して、新たにバレーボール連盟が誕生したのをきっかけに、それまでのバレーボール部が名称を変更して、現在のバレーボール同好会が生れたのです。

毎週土曜日が定期練習で、その日には男女合せて約三十名の会員が集まり、準備体操から始まる一連の練習は楽しい雰囲気の中にもきびしい一面がありみんなで声を出し合い、これは普通の同好会とは少し違うなどという感じを受けました。

メンバー全員が真のバレー好きで、ママさんバレーの練習の指導にも積極的で好評を得ています。

そして、このクラブは練習後の活動も活発で、喫茶店へ直行組やマーシャン組など、思いの方向へ解散するのが常だそうです。



強烈なスパイク